

# 企業訪問報告書

報告者：松田 意仁 (琉大GFB)

## 訪問日

2019年 2月 18日 (月)

---

## 訪問目的

現場で活躍しているプロのエンジニアとの対談を行うことで、これまでに身につけた知識や技術が実際にはどのように活かされているのかを感じるとともに、新たに知見を広げることで、将来 IT業界で活躍できるエンジニアとなるための経験を得る。

---

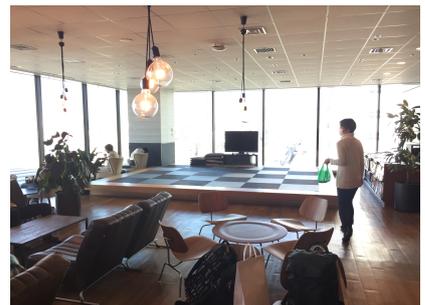
## 訪問相手

- ・株式会社mixi  
時間：12:15～13:45  
内容：エンジニアの方とランチミーティング  
場所：住友不動産渋谷ファーストタワー7F (渋谷)
  - ・NTTコミュニケーションズ  
時間：15:00～16:30  
内容：セキュリティ、ネットワークのオペレーションの分野について  
場所：東京都千代田区外神田3丁目5番2号 TKビル3階 株式会社イイガ (秋葉原)
- 

## 株式会社mixi にての感想

私たちのチームは育成プログラムにおいて、テーマ決めで苦労しました。そこで、mixiではこういった手順で企画を行なっているのか質問をしました。

企画の提案自体はエンジニア、事務関係の人、そして有給インターンに来ている人など、誰でも提案できる仕組みになっているとのことでした。



このように、異なる考えを持つ幅広い人から、案を取り入れる姿勢が、世の中に求められる物を作った実績に繋がっているのだと思いました。

また、朝会などの場で面と向かい合って情報の共有を行った方が細かい内容が伝えやすかったり、わからない部分があれば相談した方が良いなど、自分たちがチーム開発を通して身につけたことが、現場での考え方にも活かされていると実感できました。

そして、新しい技術を取り入れる際は流行っているOSSやライブラリを選ぶと、意見交換や情報共有などに繋がることや、習得した知識は意外な場面で役立つかもしれないなどのアドバイスも頂けました。



---

## NTTコミュニケーションズ にての感想

インシデントが発覚した際には、まず被害に遭った企業からヒアリングを行い、その後ログの確保・分析を行い、結果を報告するという流れとのことでした。ヒアリングの際には、相手も被害者であることを忘れず寄り添う姿勢で聞き、また、報告の際は専門用語はなるべく使わないというような仕事をする上での心構えなども聞くことができました。技術を身に着けるだけでなく、そのような人間性もまた社会で活躍する為に必要なのだと感じました。

他にも、解析結果の報告の際に出てくる被害に遭った企業の偉い人は意外と専門用語を知っていたり、インシデントが発覚した時には既にログが消えていて解析が出来ない場面も実際にはあったり、人間自体が脆弱性となってインシデントに繋がったケースがほとんどであるなど、現場で働いているからこそ知っているような興味深い話を多々聞くことができました。



---

## AND HOSTEL ASAKUSA STATION (宿泊先) にての感想

宿泊先のAND HOSTEL ASAKUSA STATION にはIoTデバイスが設置されており、IoTが私たちの生活の身近なものになりつつあると感じました。

実際にIoTに触れたことで、1台のスマホから複数のデバイスを操作するという環境は、リモコンを片付けたり探したりする手間が省ける利点があると感じました。

メリットがある一方で、集約された機能から特定の機能を探す手間が新たに生じているという問題を感じ、IoTがより一般の人々に普及する為には、GUIも1つの鍵となっていると考えました。